

3) 訓練車両の走行に伴うロードキルの状況

(1) 調査期間

本調査の実施期間を表 6.2.4-16 に示すとおり。

表 6.2.4-16 調査期間一覧

地区/季節	春季	夏季	秋季	冬季
G 地区	—	平成 29 年 9 月 12 日	平成 29 年 11 月 7 日	平成 30 年 2 月 6 日
G 進入路	工事中に示した		平成 29 年 11 月 7 日	平成 30 年 2 月 6 日
H 地区	—	平成 29 年 9 月 12 日	平成 29 年 11 月 7 日	平成 30 年 2 月 6 日
N-1 地区	—	平成 29 年 9 月 12 日	平成 29 年 11 月 7 日	平成 30 年 2 月 6 日
N-4 地区	平成 29 年 6 月 7 日	平成 29 年 7 月 6 日	平成 29 年 11 月 7 日	平成 29 年 12 月 18 日
工事用道路	—	平成 29 年 9 月 12 日	平成 29 年 11 月 7 日	平成 30 年 2 月 6 日
既存道路	—	平成 29 年 9 月 12 日	平成 29 年 11 月 7 日	平成 30 年 2 月 6 日

注)-は未実施を示す。

(2) 調査方法

訓練用車両によるロードキルの確認は、工事中に設置した注意標識等の環境保全措置の効果検証を行う目的等から実施した。

調査は訓練車両の通行経路において、徒歩及び車両移動により目視での確認を行った。道路上での轢死や横断個体を確認した場合、確認位置、種名、個体数について記録した。

(3) 調査地点

調査地点は、図 6.2.4-19 に示す訓練車両の通行経路において実施した。

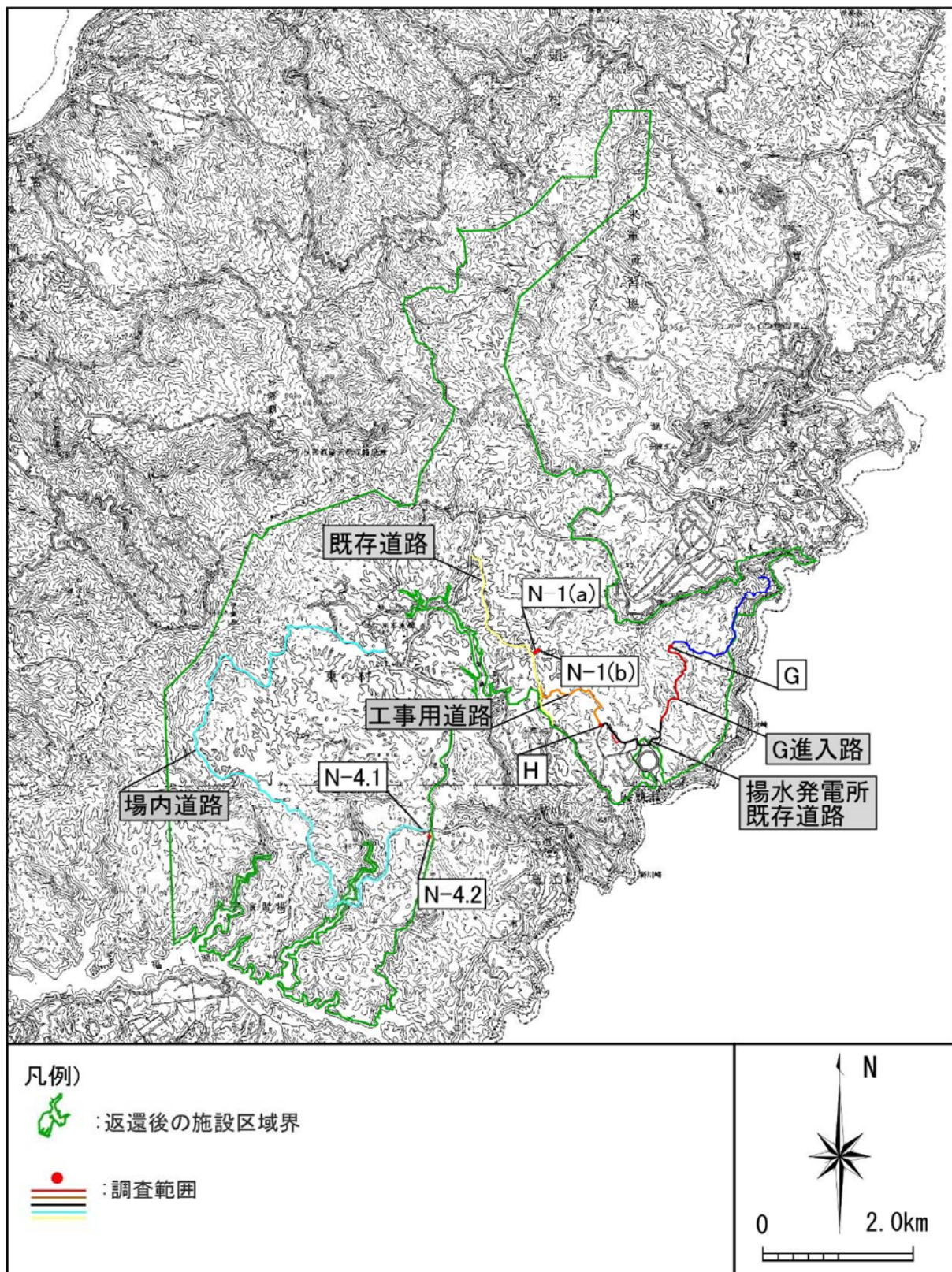


図 6.2.4-19 訓練車両の走行に伴うロードキルの調査範囲

(4) 調査結果

ロードキル及び道路横断個体の確認状況を表 6.2.4-17 に、確認位置を図 6.2.4-20、図 6.2.4-21 に示した。

ロードキルの確認は、、、、、、の7種9個体が確認された。確認地点は散発的であり、ロードキルの集中する箇所は確認されなかった。

横断個体等の確認は、鳥類やトカゲ類を中心に16種40個体が確認された。

表 6.2.4-17 ロードキル及び横断個体等の確認状況

No.	種名	ロードキル							横断個体等										
		N-4地区	N-1地区	既存道路	G地区	G進入路	H地区	工事用道路	その他	計	N-4地区	N-1地区	既存道路	G地区	G進入路	H地区	工事用道路	その他	計
1		1							1										
2										3		1							4
3										1									1
4												1							1
5		1							1			1							1
6										1									1
7												1							1
8																2			2
9												3				7			10
10																2	1		3
11									1	1		2				1			3
12		1							1	2		2		1					5
13												1				1			2
14										1		1							2
15												1							1
16				1															1
17		1		1						2	1								1
18								1		1									1
-								1		1									1
19												2							2
	種類数	4	0	2	0	0	0	1	1	7	6	0	11	0	1	0	5	1	16
	個体数	4	0	2	0	0	0	2	1	9	9	0	16	0	1	0	13	1	40

注)カエル類は、シロアゴガエルの可能性があることから種数の集計に含めていない。



図 6.2.4-20 ロードキル及び横断個体の確認地点 (N-4)



図 6.2.4-21 ロードキル及び横断個体の確認地点

4) ヘリコプター飛行時の騒音及び貴重な鳥類、カエル類の繁殖状況

(1) 調査期間

本調査の実施期間を表 6.2.4-18 に示した。

表 6.2.4-18 調査期間一覧

地区	鳥類繁殖時期	両生類繁殖時期
G地区	—	冬季：平成29年12月20日～22日 平成30年1月9日～11日
H地区	—	冬季：平成29年12月25日～27日 平成30年1月17日～19日
N-1地区	—	冬季：平成29年12月25日～27日 平成30年1月15日～18日
N-4地区	平成29年5月23日～25日 平成29年5月30日～6月2日 平成29年6月8日(騒音測定)	春季：平成29年5月23日～25日 平成29年5月30日～6月2日 冬季：平成29年12月20日～22日 平成30年1月15日～17日 平成30年2月28日(騒音測定)

(2) 調査方法

a) 鳥類

鳥類は、目視や鳴き声により産卵や営巣などの繁殖行動を観察した。鳥類の繁殖等を観察した場合は、確認場所やその状況を記録した。繁殖の判定は、「環境省第6回自然環境保全基礎調査（環境省編、平成16年）」の区分に準じた。

b) カエル類

カエル類は、目視や鳴き声等により繁殖行動を確認した。繁殖場等が確認された場合は、確認場所やその状況を記録した。繁殖は、産卵行動や卵、幼生、小型幼体の確認をもって判定した。繁殖可能性は幼体の確認で判定した。

c) 騒音測定

事業実施区域直近の貴重鳥類及びカエル類の繁殖場において騒音の測定を実施した。測定は、騒音レベル測定方法(JIS Z 8731)に基づき、地上1.2mの高さに騒音計を設置し、6:00～22:00(毎正時10分間)の騒音測定を行い、普通騒音計にメモリされた記録についてパソコンを用いて処理した。データの整理・解析は、一次処理として普通騒音計にメモリされた記録をパソコンに取り込み、等価騒音レベル(L_{Aeq})と時間率騒音レベル(L₅、L₅₀、L₉₅)を統計処理で算出し、二次処理として作表、解析を行った。なお、測定は米側の許可が得られたN-4地区についてのみ実施している。

(3) 調査地点

調査は図 6.2.4-22～図 6.2.4-25 に示す着陸帯の中心から半径約250m(N-1は2連のため約400m)の範囲で実施した。

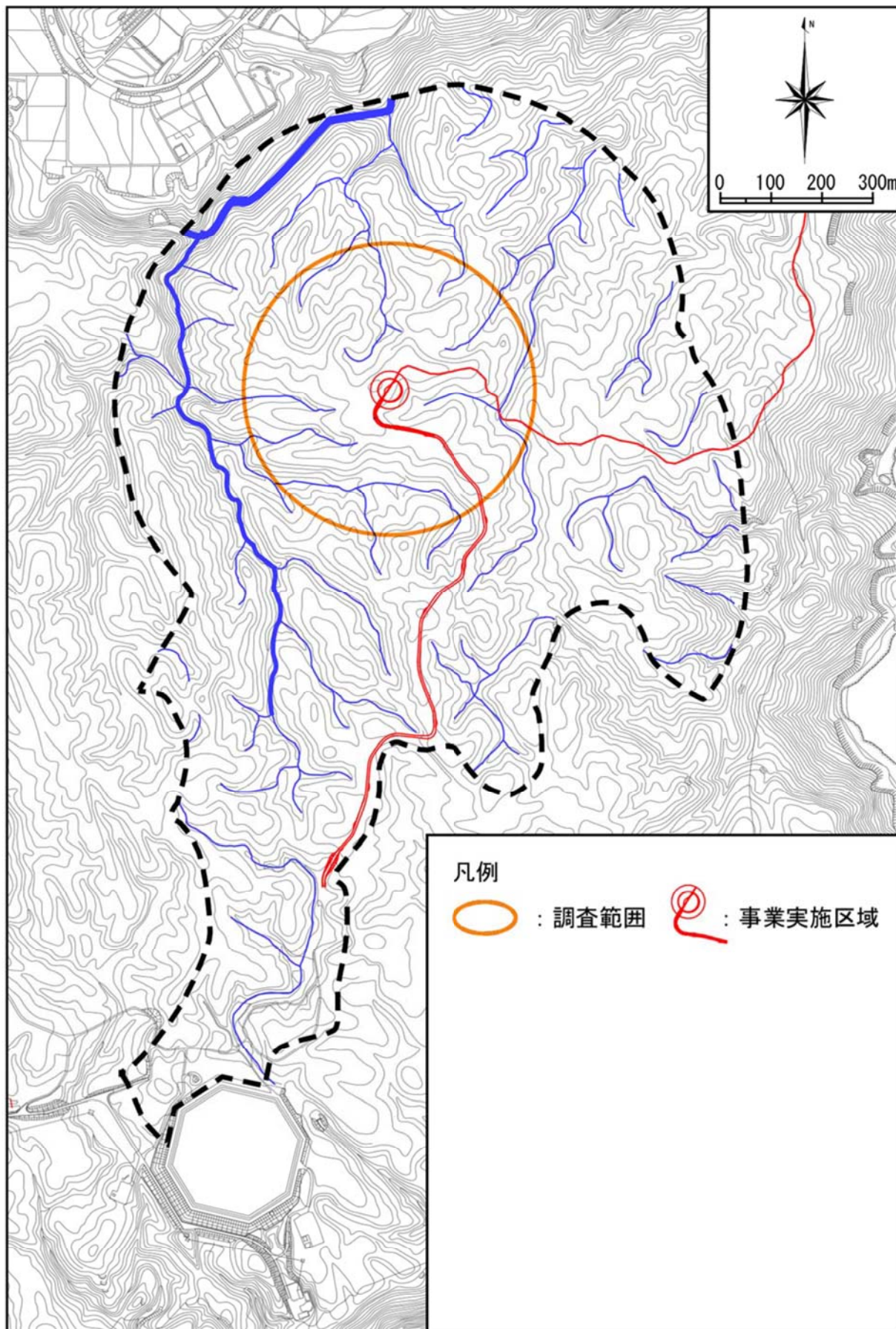
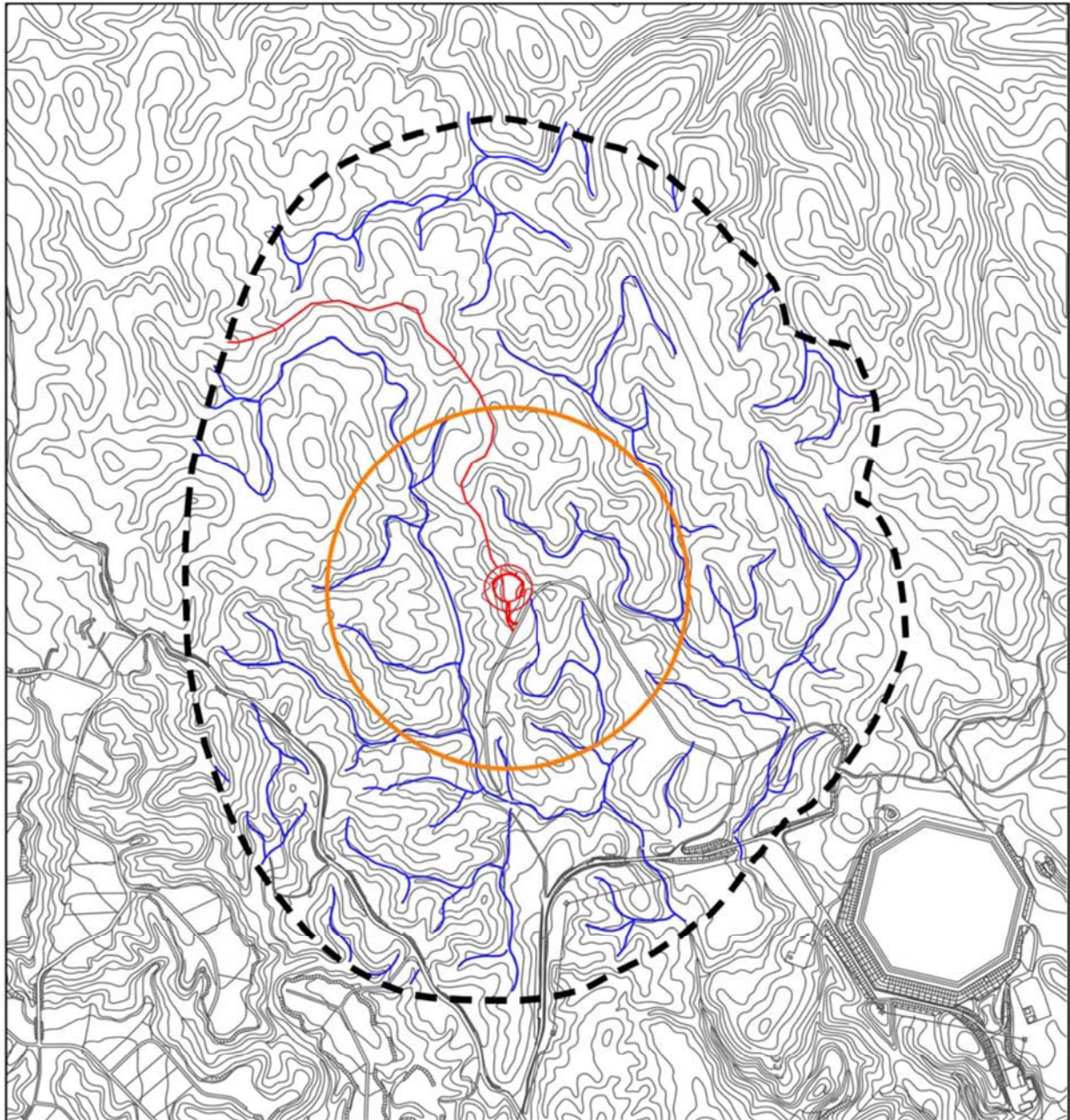



図 6.2.4-22 貴重な鳥類・カエル類の繁殖状況調査地点(G地区)



凡例

 : 調査範囲

 : 事業実施区域



0 100 200 300 400m

図 6.2.4-23 貴重な鳥類・カエル類の繁殖状況調査地点(H地区)

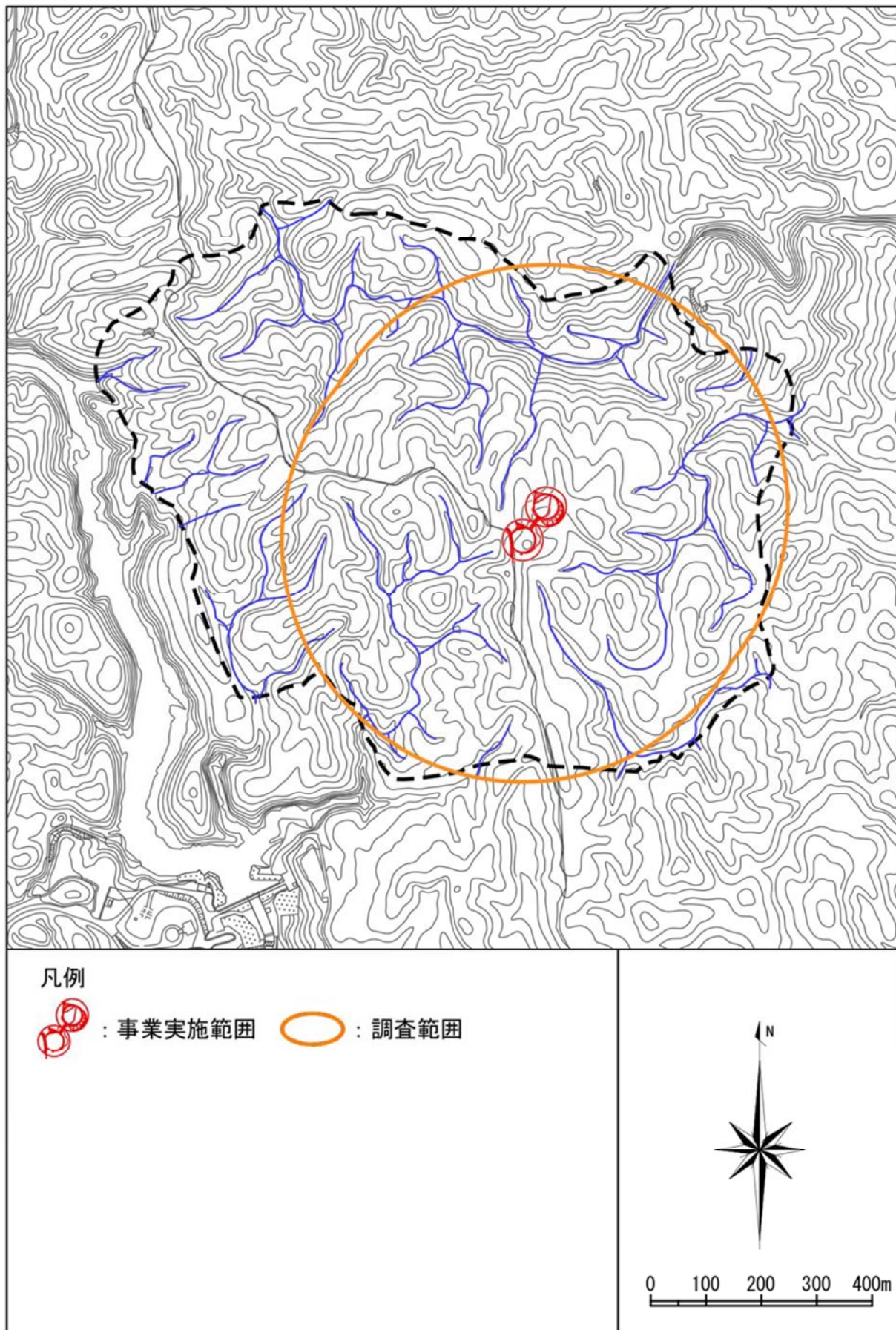


図 6.2.4-24 貴重な鳥類・カエル類の繁殖状況調査地点(N-1 地区)

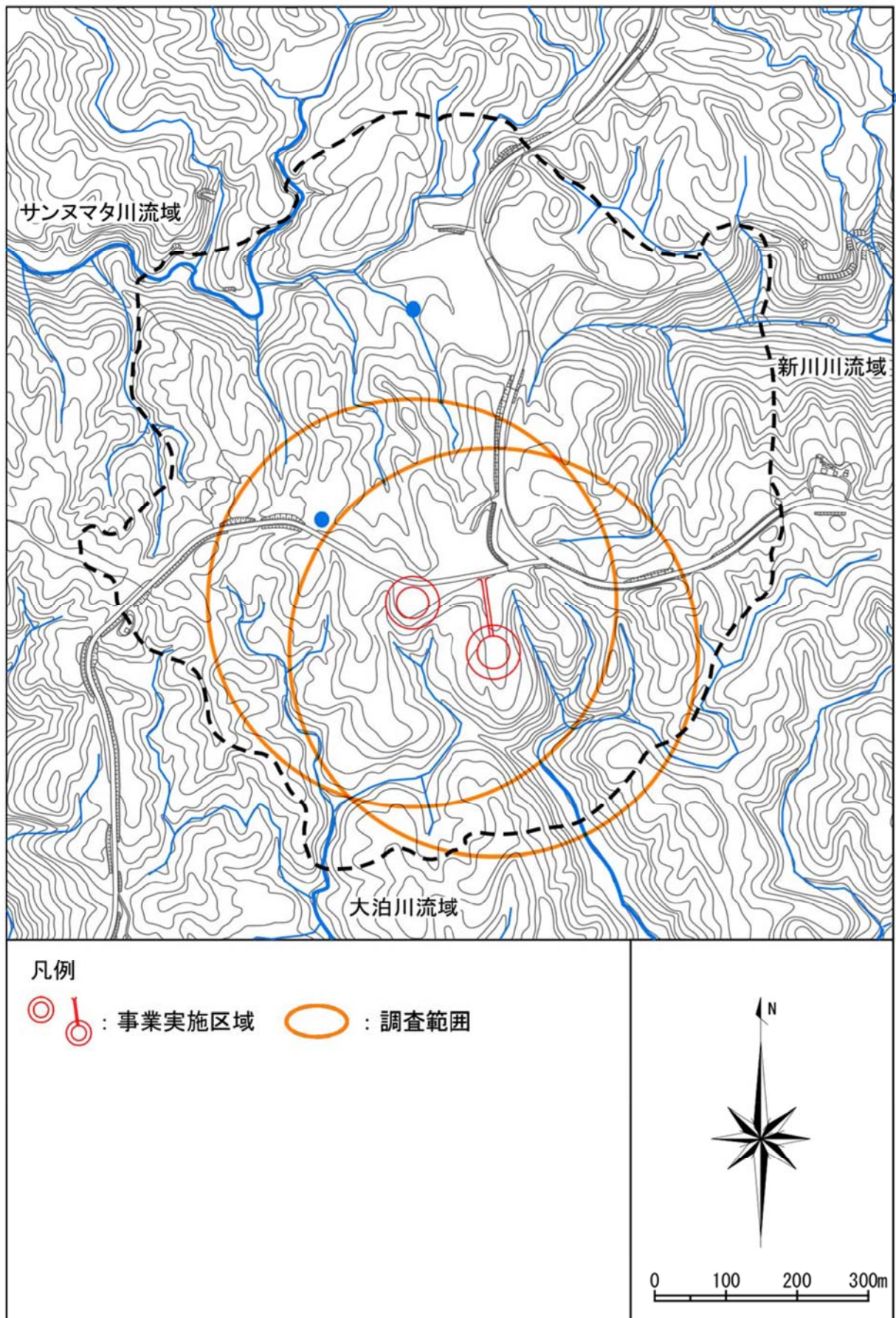


図 6.2.4-25 貴重な鳥類・カエル類の繁殖状況調査地点(N-4 地区)

(4) 調査結果

a) G 地区

G 地区における貴重なカエル類の生息及び繁殖の確認状況を表 6.2.4-19 に、確認した繁殖状況を図 6.2.4-26 に、確認地点を図 6.2.4-27 に示した。

冬季に確認された種は、、、、の 4 種であった。このうち は卵や幼生が確認され、についても幼生が確認された。繁殖の可能性がある種として、の幼体が確認された。

表 6.2.4-19 貴重なカエル類の生息及び繁殖状況 (G 地区：冬季)

ランク	現地調査に関する基準				
a	繁殖を確認した。	○ 3			○ 4
b	繁殖の確認はなかったが、繁殖の可能性がある。			○ 2	○ 2
c	生息を確認した。	○ 10	○ 1	○ 5	

- 注 1) 表中の数値は、各観察コードに該当する調査確認の件数を表す。例：複数個体から成る繁殖集団は 1 と集計。
 注 2) 「繁殖を確認」は、産卵(産卵場と推定される水場周りでの繁殖期の鳴き声含む)、卵(卵塊含む)、幼生、1cm 前後の小型の幼体の確認と定義した。
 注 3) 「繁殖可能性がある」は、2cm 前後及び比較的小型で移動性が低いと考えられる幼体を確認した場合と定義し、これより大型で移動性が高いと考えられる幼体の確認は除外した。
 注 4) 「生息を確認」は、ランク a、ランク b 以外の確認(成体等)と定義した。



の卵 の産卵環境(○部分)



の幼生 の幼体

図 6.2.4-26 貴重なカエル類の繁殖状況 (G 地区)

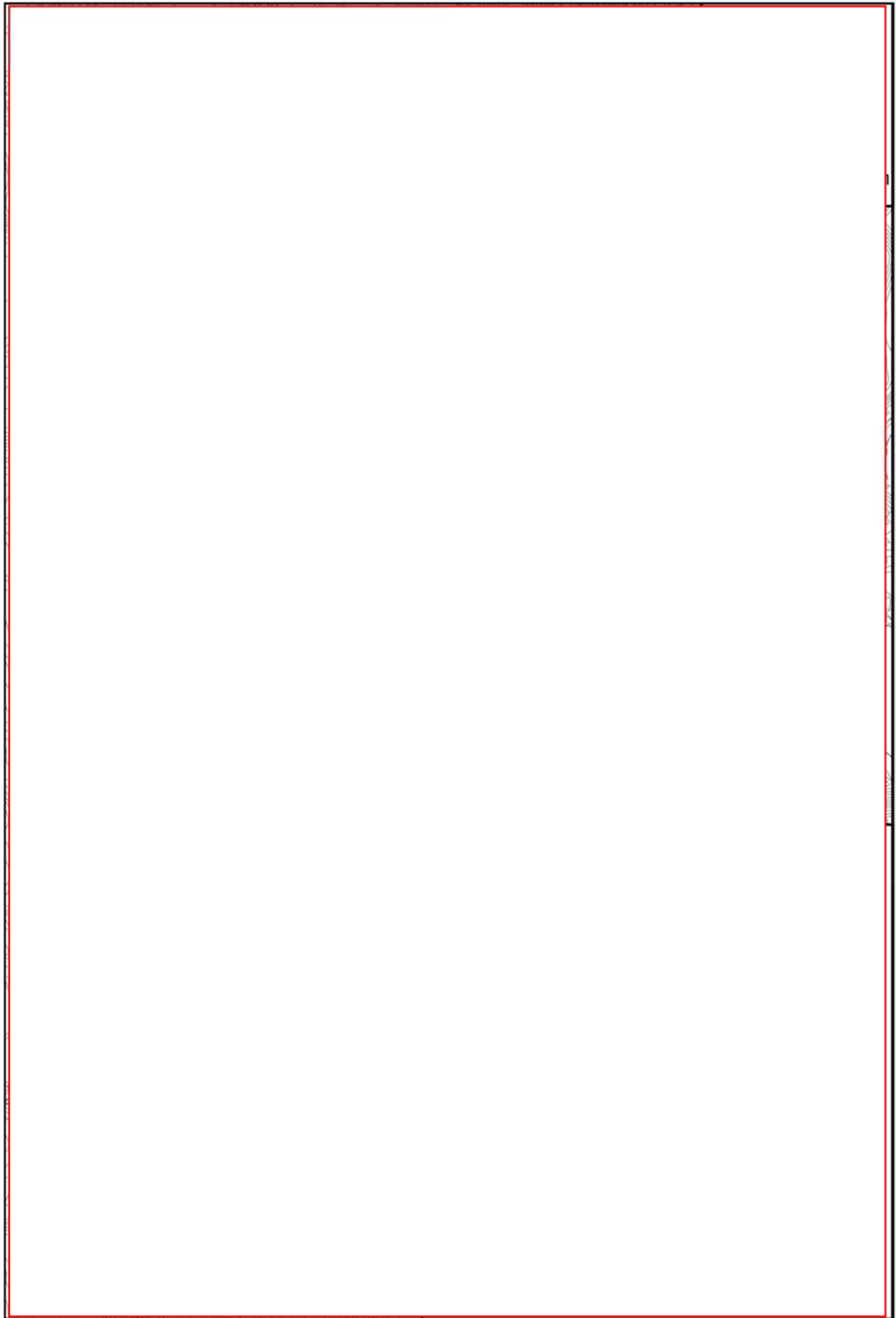


図 6.2.4-27 貴重なカエル類の確認及び繁殖位置 (G 地区)

b) H 地区

H 地区における貴重なカエル類の生息及び繁殖の確認状況を表 6.2.4-20 に、確認した繁殖状況を図 6.2.4-28 に、確認地点を図 6.2.4-29 に示した。

冬季に確認された種は、、、
、の 4 種であった。このうち は
 卵や幼生が確認され、についても幼生が確認された。

表 6.2.4-20 貴重なカエル類の生息及び繁殖状況 (H 地区：冬季)

ランク	現地調査に関する基準	<input type="text"/>			
a	繁殖を確認した。	○ 8		○ 4	
b	繁殖の確認はなかったが、繁殖の可能性がある。				
c	生息を確認した。	○ 4	○ 14		○ 2

- 注 1) 表中の数値は、各観察コードに該当する調査確認の件数を表す。例：複数個体から成る繁殖集団は 1 と集計。
 注 2) 「繁殖を確認」は、産卵(産卵場と推定される水場周りでの繁殖期の鳴き声含む)、卵(卵塊含む)、幼生、1cm 前後の小型の幼体の確認と定義した。
 注 3) 「繁殖可能性がある」は、2cm 前後及び比較的小型で移動性が低いと考えられる幼体を確認した場合と定義し、これより大型で移動性が高いと考えられる幼体の確認は除外した。
 注 4) 「生息を確認」は、ランク a、ランク b 以外の確認(成体等)と定義した。



の卵 の産卵環境(○部
分)

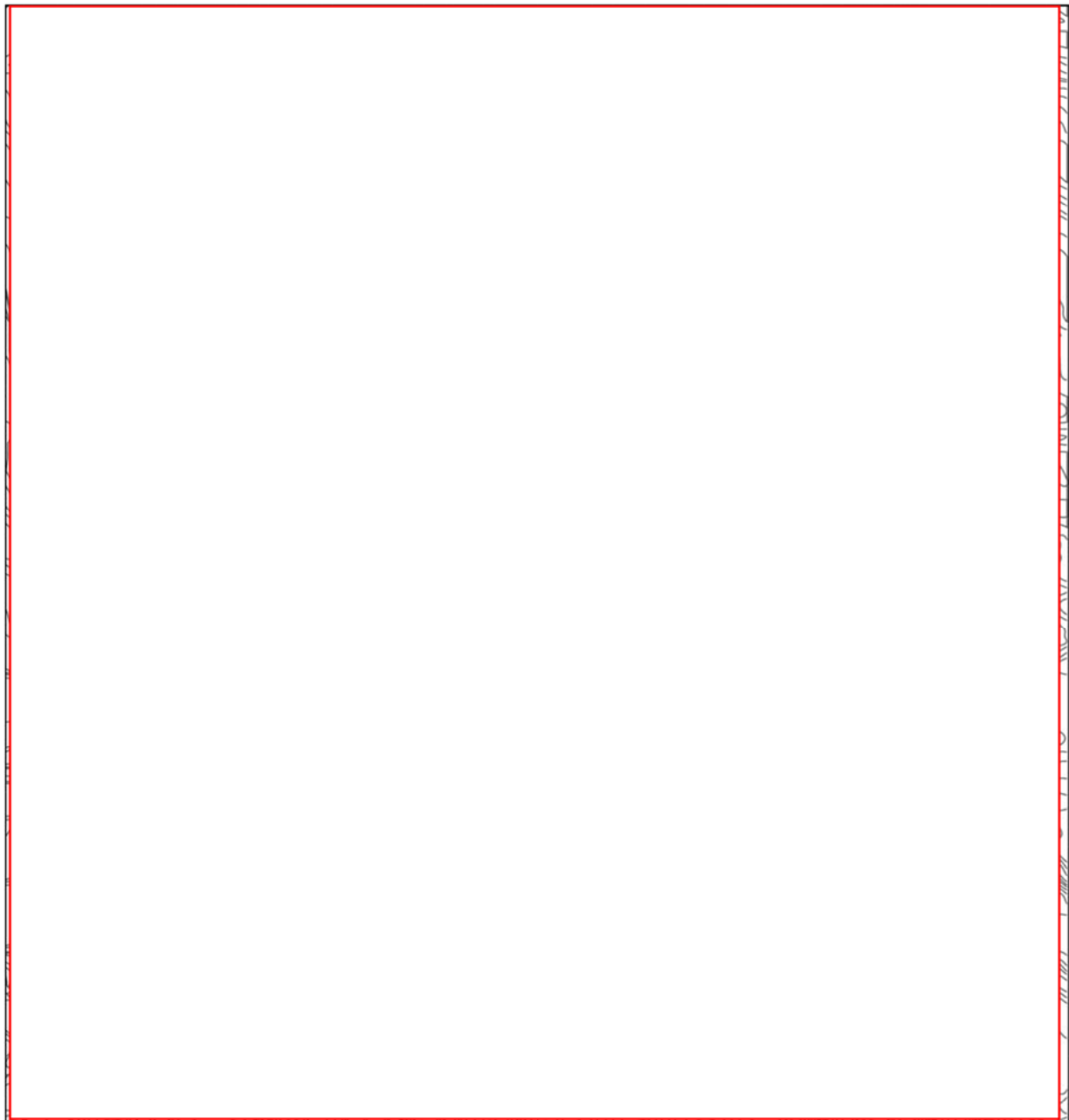


の孵化直後の幼生





幼生の生息環境


図 6.2.4-28 貴重なカエル類の繁殖状況 (H 地区)





凡例

-  : 調査範囲
  : 事業実施区域

-  : ランクa (繁殖)
  : ランクb (繁殖の可能性有)
  : ランクc (生息を確認)
  : 騒音測定地点

-  : 成体
  : 卵
  : 幼生

-  : 成体

-  : 成体
  : 幼体
  : 幼生

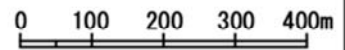


図 6.2.4-29 貴重なカエル類の確認及び繁殖位置(H地区)

c) N-1 地区

N-1 地区における貴重なカエル類の生息及び繁殖の確認状況を表 6.2.4-21 に、確認した繁殖状況を図 6.2.4-30 に、確認地点を図 6.2.4-31 に示した。

冬季に確認された種は、、、、、、 の 6 種であった。このうち は卵や幼生が確認され、 についても幼生が確認された。 については幼体が確認され、周辺で繁殖しているものと推察された。

表 6.2.4-21 貴重なカエル類の生息及び繁殖状況 (N-1 地区：冬季)

ランク	現地調査に関する基準						
a	繁殖を確認した。		○ 8			○ 15	
b	繁殖の確認はなかったが、繁殖の可能性はある。					○ 1	○ 3
c	生息を確認した。	○ 1	○ 6	○ 3	○ 15		○ 2

- 注 1) 表中の数値は、各観察コードに該当する調査確認の件数を表す。例：複数個体から成る繁殖集団は 1 と集計。
 注 2) 「繁殖を確認」は、産卵(産卵場と推定される水場周りでの繁殖期の鳴き声含む)、卵(卵塊含む)、幼生、1cm 前後の小型の幼体の確認と定義した。
 注 3) 「繁殖可能性はある」は、2cm 前後及び比較的小型で移動性が低いと考えられる幼体を確認した場合と定義し、これより大型で移動性が高いと考えられる幼体の確認は除外した。
 注 4) 「生息を確認」は、ランク a、ランク b 以外の確認(成体等)と定義した。

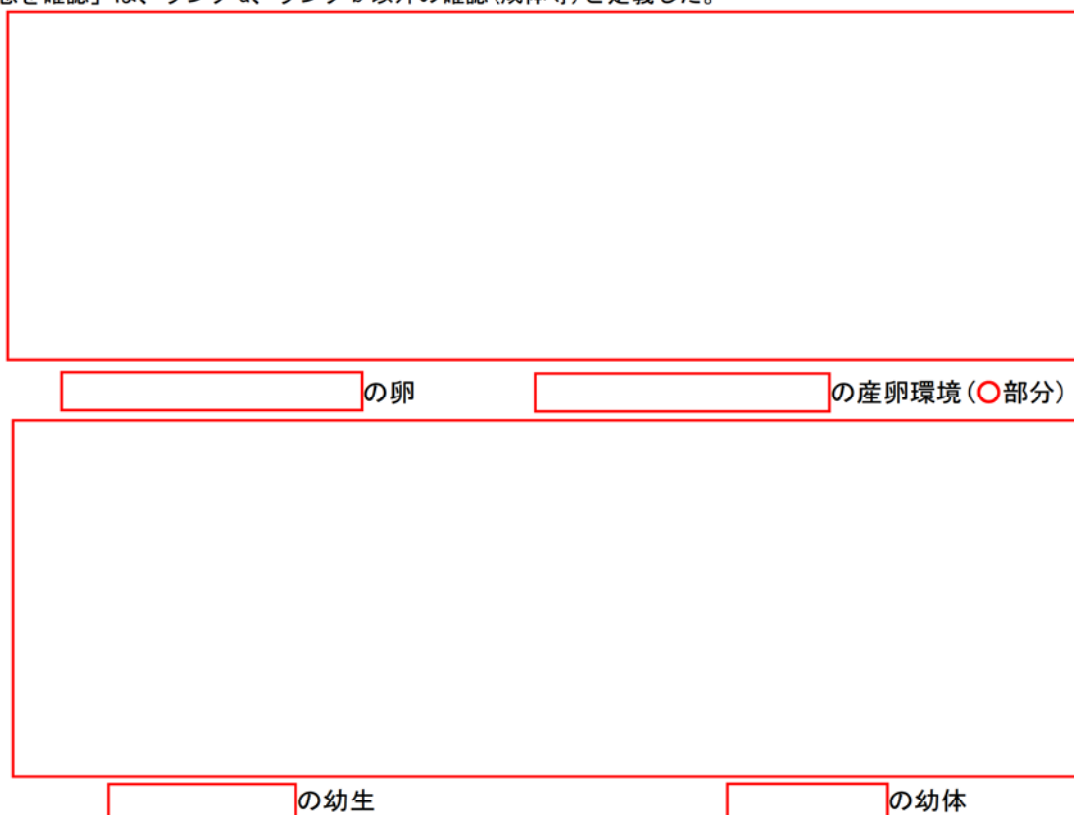


図 6.2.4-30 貴重なカエル類の繁殖状況 (N-1 地区)

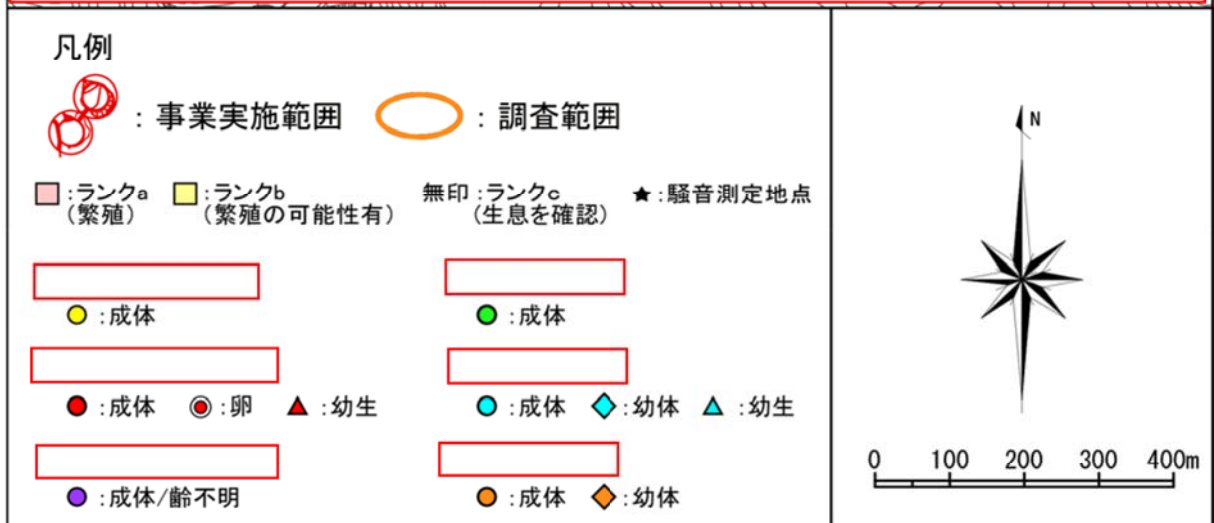
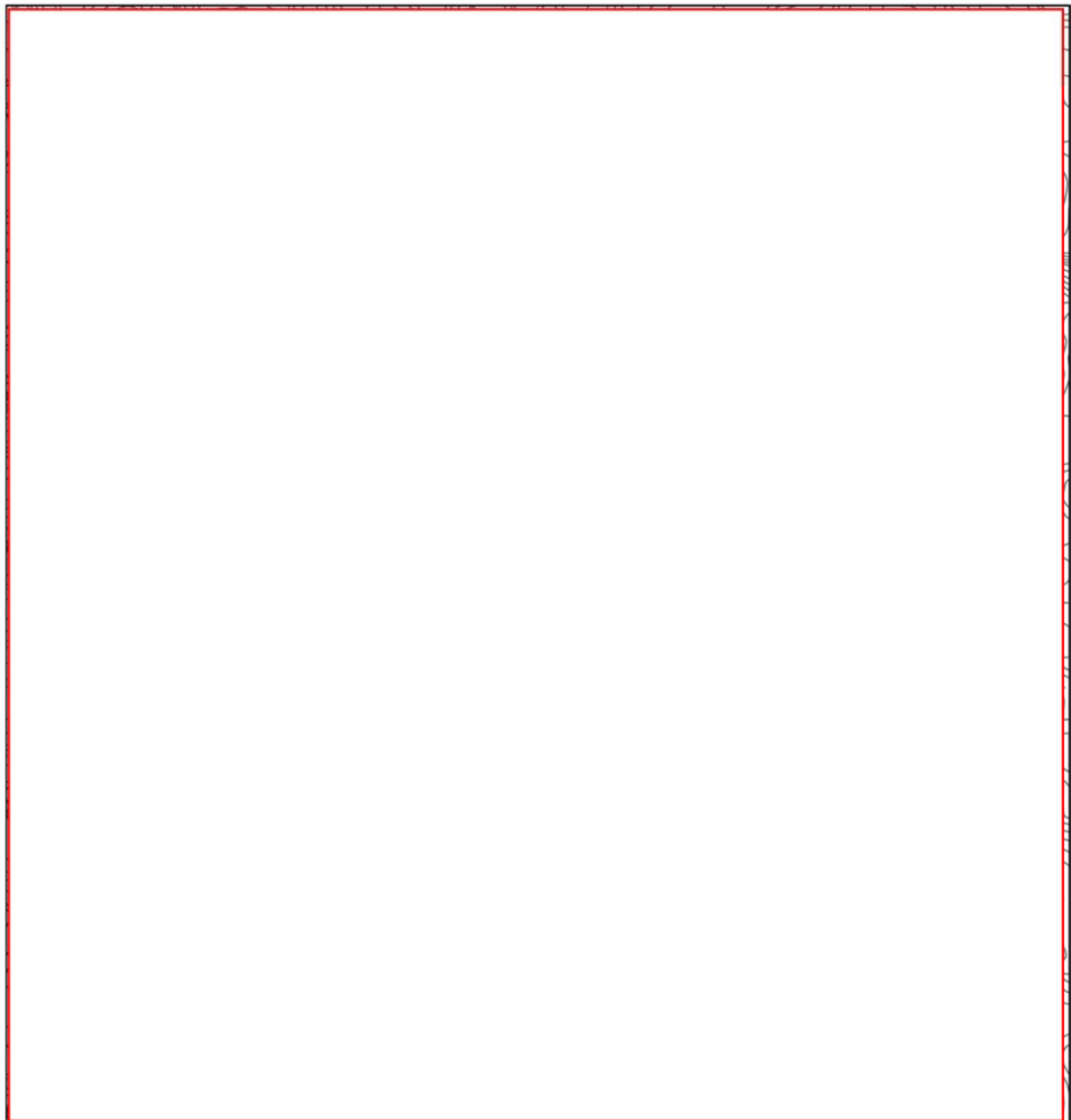


図 6.2.4-31 貴重なカエル類の確認及び繁殖位置(N-1地区:冬季)

d) N-4 地区

(a) 貴重な鳥類の繁殖状況

N-4 地区における貴重な鳥類の生息及び繁殖の確認状況を表 6.2.4-22 に、確認した繁殖状況を図 6.2.4-32 に、確認地点を図 6.2.4-33～図 6.2.4-34 に示した。

繁殖が確認された種は、 及び の 2 種であった。 は営巣が南東側の河川沿いで 1 箇所確認され、巣立ち後の幼鳥が西側の林内で確認された。 は、本年度の営巣跡が着陸帯南側直近の沢、北側の沢の 2 箇所で確認された。

その他に、繁殖の可能性がある種として、、、、、、 の 6 種が確認され、それぞれさえずりや幼鳥(家族群)などが確認されている。

表 6.2.4-22 貴重な鳥類の生息及び繁殖状況 (N-4 地区)

ランク	現地調査に関する基準	<input type="text"/>							
a	繁殖を確認した。					○ 2		○ 2	
b	繁殖の確認はなかったが、繁殖の可能性がある。	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	○ 9	○ 4	○ 12	○ 2
c	生息を確認したが、繁殖については何ともいえない。		○ 2		○ 2	○ 20		○ 7	

注) ランク区分は、環境省第 6 回自然環境保全基礎調査「鳥類繁殖状況調査報告書 (環境省編、平成 16 年)」の区分に準じる



巣穴を覗き込む の巣跡

図 6.2.4-32 貴重な鳥類の繁殖状況 (N-4 地区)

表 6.2.4-23 の確認状況 (N-4 地区)

No.	地区	調査日	調査時間	種名	個体数	形態	ランク	繁殖コード	17_備考
1	N-4	20170530	14:36		1	採餌痕	ランクc	50	林道脇の枯木。
2	N-4	20170530	14:41		1	採餌痕	ランクc	50	枯木。
3	N-4	20170530	15:00		1	採餌痕	ランクc	50	枯木。
4	N-4	20170523	13:22		1	採餌痕	ランクc	50	枯木。
5	N-4	20170530	15:43		1	採餌痕	ランクc	50	立ち枯木。
6	N-4	20170523	14:07		1	巣跡	ランクb	38	イタジイ、古い
7	N-4	20170523	14:15		1	成鳥	ランクb	30	さえずり
8	N-4	20170531	14:26		1	採餌痕	ランクc	50	枯木。
9	N-4	20170531	14:46		1	採餌痕	ランクc	50	倒木。
10	N-4	20170531	14:55		1	採餌痕	ランクc	50	倒木。
11	N-4	20170531	15:58		1	成鳥	ランクb	30	尾根上。
12	N-4	20170531	16:30		1	採餌痕	ランクc	50	枯木。
13	N-4	20170523	14:39		1	採餌痕	ランクc	50	枯木。
14	N-4	20170523	15:06		1	巣跡	ランクb	38	穴が綺麗で新しいが今年のものではない。
15	N-4	20170523	15:30		1	成鳥	ランクc	50	成鳥みが穴を覗く。(巣ではなさそう)
16	N-4	20170523	16:20		1	採餌痕	ランクc	50	落枝。
17	N-4	20170523	16:25		1	成鳥	ランクb	30	林内からさえずり。
18	N-4	20170523	16:45		1	成鳥	ランクa	11	造巣
19	N-4	20170524	9:22		1	採餌痕	ランクc	50	落枝。
20	N-4	20170524	10:09		1	巣跡	ランクb	38	古巣
21	N-4	20170524	10:53		1	採餌痕	ランクc	50	倒木。
22	N-4	20170524	14:19		1	巣跡	ランクb	38	古巣
23	N-4	20170524	14:50		1	成鳥	ランクc	50	成鳥が採餌して飛び去った。
24	N-4	20170524	14:50		1	幼鳥	ランクa	21	近くに飛来した親に餌ねだり。
25	N-4	20170524	15:20		1	不明	ランクc	51	地鳴き
26	N-4	20170525	10:50		1	採餌痕	ランクc	50	落枝。
27	N-4	20170525	11:00		1	採餌痕	ランクc	50	落枝。
28	N-4	20170525	12:52		1	巣跡	ランクb	38	古巣
29	N-4	20170525	13:02		1	採餌痕	ランクc	50	枯木。
30	N-4	20170525	13:08		1	巣跡	ランクb	38	古巣。去年?

表 6.2.4-24 鳥類の確認状況 (N-4 地区)

No.	地区	調査日	調査時間	種名	個体数	形態	ランク	繁殖コード	17_備考
1	N-4	20170530	13:33		1	成鳥	ランクb	30	林内から鳴き声。さえずり。
2	N-4	20170524	10:09		1	成鳥	ランクb	30	さえずり。
3	N-4	20170525	11:08		1	成鳥	ランクb	30	さえずり。
4	N-4	20170525	13:30		2	幼鳥	ランクb	39	幼鳥2個体が採餌していた。
5	N-4	20170524	8:53		1	成鳥	ランクb	30	林内から鳴き声。さえずり。
6	N-4	20170530	14:25		1	成鳥	ランクb	30	谷部よりさえずり。
7	N-4	20170523	13:05		1	不明	ランクc	51	地鳴き。
8	N-4	20170531	13:52		1	成鳥	ランクb	30	谷部。
9	N-4	20170531	14:50		1	成鳥	ランクb	30	林内。
10	N-4	20170531	15:10		1	成鳥	ランクb	30	林内。
11	N-4	20170531	15:50		1	成鳥	ランクb	34	尾根上。
12	N-4	20170531	15:57		1	成鳥	ランクc	50	河岸。
13	N-4	20170531	16:45		1	成鳥	ランクb	30	斜面。
14	N-4	20170601	16:28		1	成鳥	ランクc	51	林内。
15	N-4	20170602	13:40		1	不明	ランクb	30	河川内。
16	N-4	20170523	17:20		2	成鳥♀1・幼鳥1	ランクb	40	家族群。
17	N-4	20170524	9:31		1	巣跡	ランクa	16	今年営巣した巣跡。
18	N-4	20170524	10:20		1	不明	ランクc	50	林内で採餌していた。
19	N-4	20170524	10:30		1	幼鳥	ランクb	39	巣立ち雛(雌)。
20	N-4	20170524	11:59		1	成鳥	ランクb	30	さえずり。
21	N-4	20170524	12:15		1	成鳥	ランクb	30	さえずり。
22	N-4	20170524	12:55		1	成鳥	ランクc	50	雄成鳥。
23	N-4	20170524	12:55		1	幼鳥	ランクb	39	巣立ち雛(雄)。成鳥と一緒に行動
24	N-4	20170524	15:35		1	成鳥	ランクc	50	雌成鳥。
25	N-4	20170525	11:16		1	不明	ランクc	51	地鳴き。
26	N-4	20170525	12:52		1	巣跡	ランクa	16	今年営巣した巣跡。
27	N-4	20170530	22:08		1	成鳥	ランクb	30	林内から鳴き声。
28	N-4	20170524	9:17		1	不明	ランクc	51	警戒声。
29	N-4	20170524	13:00		1	食痕	ランクc	50	ヤンバルマイマイの殻
30	N-4	20170523	16:04		1	成鳥	ランクb	30	さえずり。
31	N-4	20170524	10:58		1	成鳥	ランクb	30	さえずり。
32	N-4	20170530	13:18		1	不明	ランクc	50	道脇の林内で採餌。
33	N-4	20170523	15:23		1	不明	ランクc	51	地鳴き。
34	N-4	20170525	13:30		4	成鳥1・幼鳥3	ランクb	40	家族群
35	N-4	20170531	21:05		1	成鳥	ランクb	30	林内。

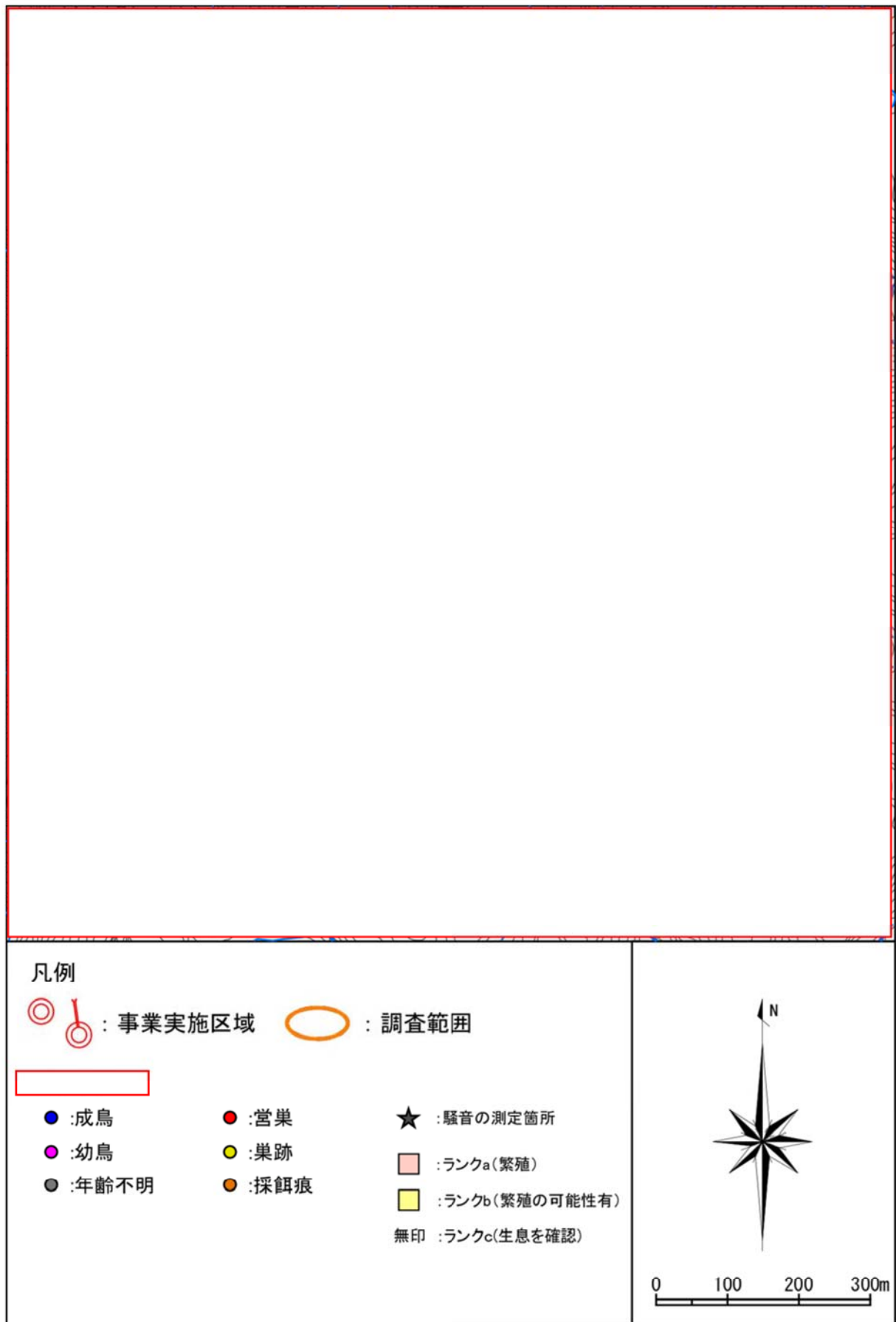


図 6. 2. 4-33  の確認及び繁殖位置 (N-4 地区)

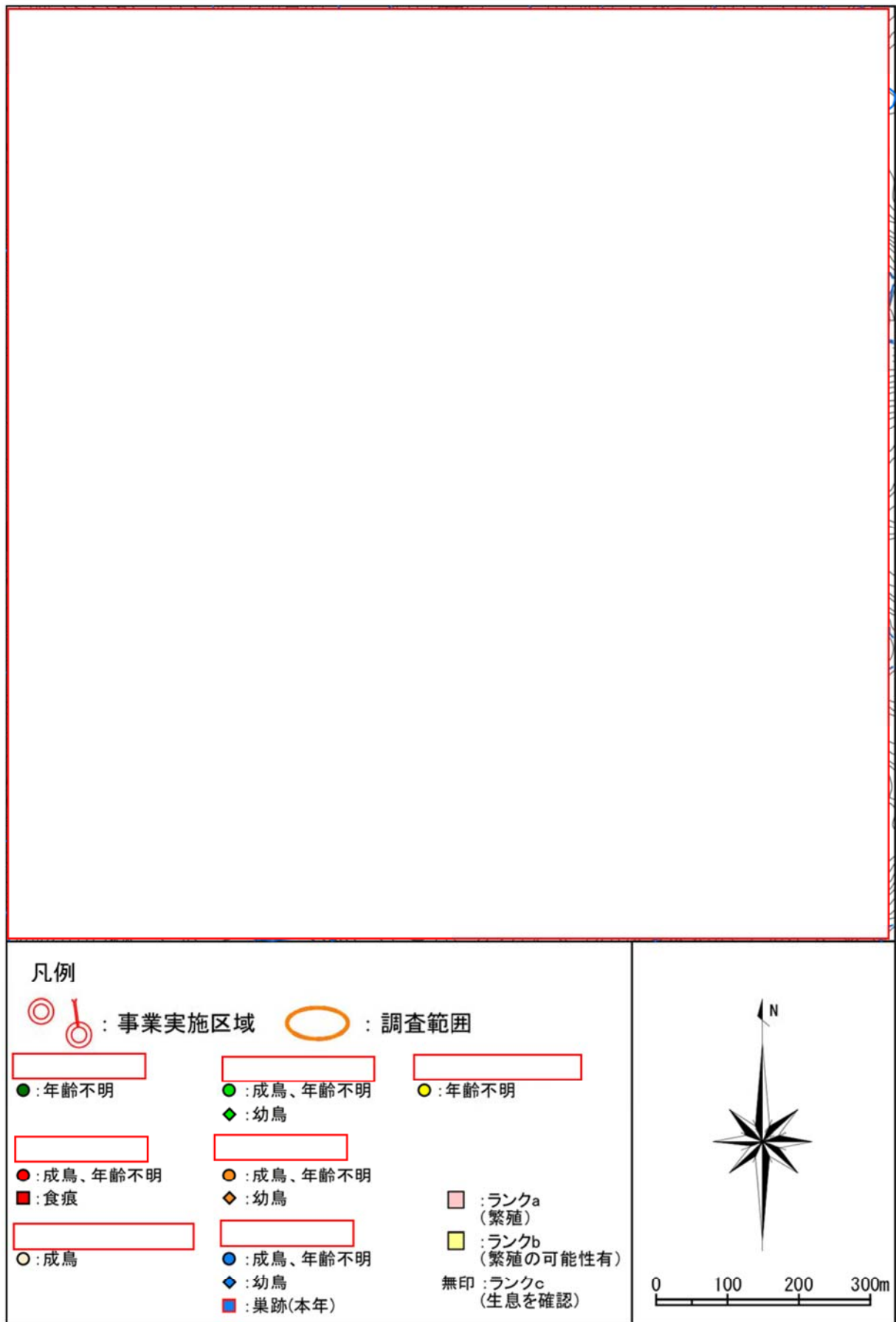


図 6.2.4-34 その他貴重な鳥類の確認及び繁殖位置(N-4地区)

(b) 貴重なカエル類の繁殖状況

ア) 春季

N-4 地区における貴重なカエル類の生息及び繁殖の確認状況を表 6.2.4-25 に、確認した繁殖状況の写真を図 6.2.4-35 に、確認地点を図 6.2.4-36 に示した。

春季に繁殖が確認された種は、、の2種であった。その他に、繁殖の可能性のある種としての幼体を確認された。

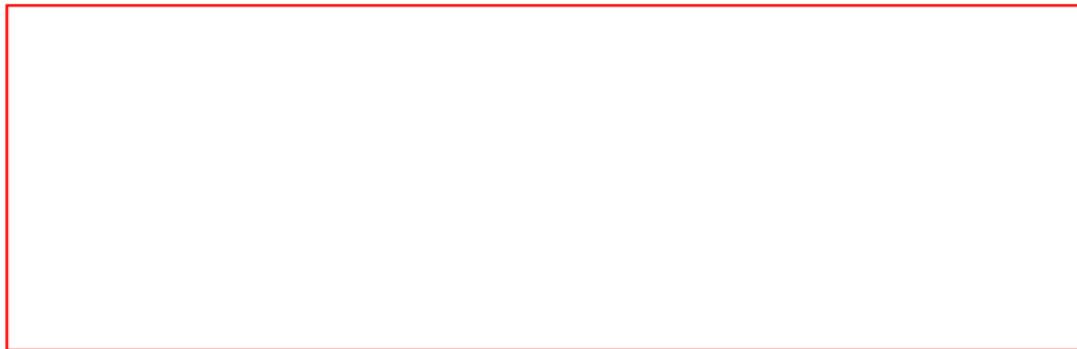
表 6.2.4-25 貴重なカエル類の生息及び繁殖状況 (N-4 地区 : 春季)

ランク	現地調査に関する基準					
a	繁殖を確認した。				○ 1	○ 4
b	繁殖の確認はなかったが、繁殖の可能性はある。		○ 2			○ 3
c	生息を確認した。	○ 5	○ 11	○ 18		○ 2

- 注1) 表中の数値は、各観察コードに該当する調査確認の件数を表す。例:複数個体から成る繁殖集団は1と集計。
 注2) 「繁殖を確認」は、産卵(産卵場と推定される水場周りでの繁殖期の鳴き声含む)、卵(卵塊含む)、幼生、上陸直後と考えられる小型の幼体の確認と定義した。
 注3) 「繁殖可能性はある」は、比較的小型で移動性が高くないと考えられる幼体を確認した場合と定義し、これより大型で移動性が高いと考えられる幼体の確認は除外した。
 注4) 「生息を確認」は、ランク a、ランク b 以外の確認(成体等)と定義した。



の卵 の産卵環境(○部分)



の幼生 の幼生生育環境

図 6.2.4-35 貴重なカエル類の繁殖状況 (N-4 地区 : 春季)

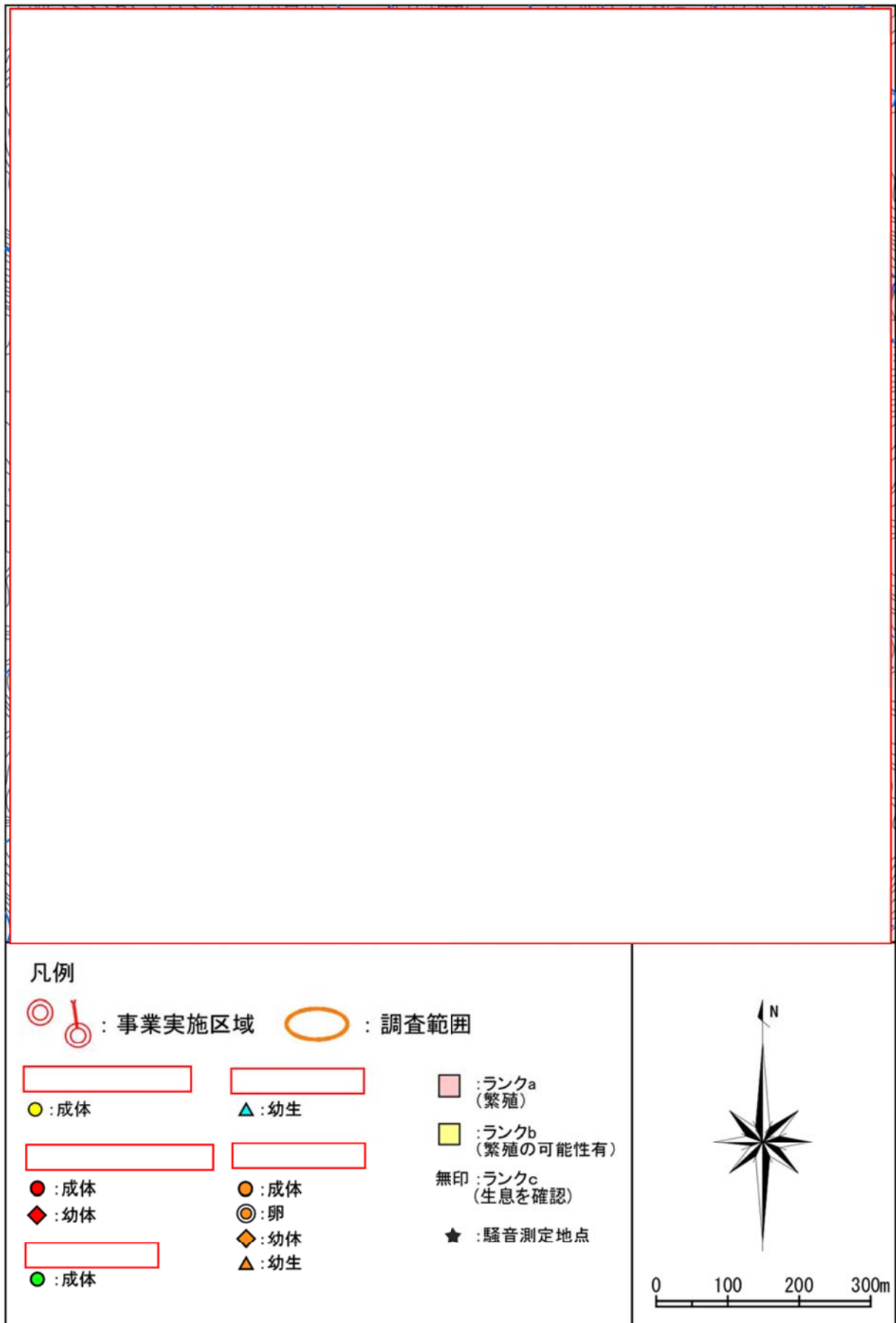


図 6.2.4-36 貴重なカエル類の確認及び繁殖位置(N-4 地区 : 春季)

イ) 冬季

N-4 地区における冬季の貴重なカエル類の生息及び繁殖の確認状況を表 6.2.4-26 に、確認した繁殖状況を図 6.2.4-37 に、確認地点を図 6.2.4-38 に示した。

冬季に確認された種は、、、
、の4種であった。このうち、
については卵が確認され、についても幼生が確認された。については幼体が確認され、周辺で繁殖しているものと推察された。

表 6.2.4-26 貴重なカエル類の生息及び繁殖状況 (N-4 地区：冬季)

ランク	現地調査に関する基準				
a	繁殖を確認した。	○ 12	○ 1	○ 3	
b	繁殖の確認はなかったが、繁殖の可能性がある。			○ 1	○ 1
c	生息を確認した。	○ 21	○ 18		○ 5

- 注 1) 表中の数値は、各観察コードに該当する調査確認の件数を表す。例：複数個体から成る繁殖集団は1と集計。
 注 2) 「繁殖を確認」は、産卵(産卵場と推定される水場周りでの繁殖期の鳴き声含む)、卵(卵塊含む)、幼生、1cm 前後の小型の幼体の確認と定義した。
 注 3) 「繁殖可能性がある」は、2cm 前後及び比較的小型で移動性が低いと考えられる幼体を確認した場合と定義し、これより大型で移動性が高いと考えられる幼体の確認は除外した。
 注 4) 「生息を確認」は、ランク a、ランク b 以外の確認(成体等)と定義した。

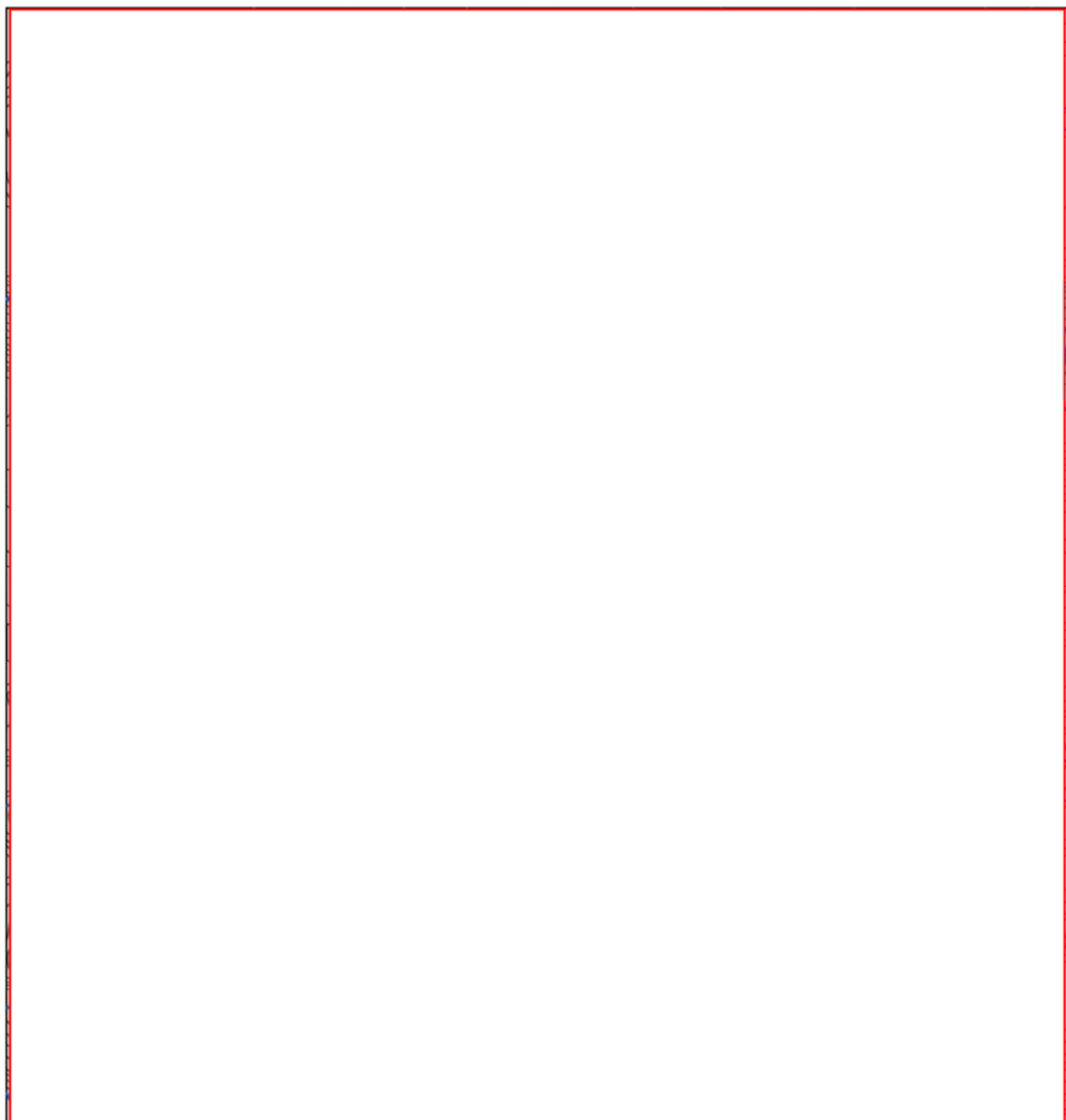


の幼生 の産卵環境(○部分)






の卵塊 の産卵環境(○部分)

図 6.2.4-37 貴重なカエル類の繁殖状況 (N-4 地区：冬季)



凡例


 : 事業実施区域
  : 調査範囲




-  : 成体
-  : 卵
-  : 幼生



-  : 幼体
-  : 幼生



-  : 成体
-  : 卵塊



-  : 成体
-  : 幼体

-  : ランクa (繁殖)
-  : ランクb (繁殖の可能性有)
- 無印 : ランクc (生息を確認)
- ★ : 騒音測定地点



0 100 200 300m

図 6.2.4-38 貴重なカエル類の確認及び繁殖位置(N-4 地区 : 冬季)

ウ) 繁殖地における騒音状況

鳥類・カエル類の繁殖地における騒音測定結果を表 6.2.4-27、表 6.2.4-28 に示した。

春季調査では、着陸帯南側の沢において [] の卵が確認されたことから、当該箇所において騒音調査を実施した(図 6.2.4-36 参照)。近傍では、 [] の巣跡も確認されている。無障害物帯の縁から騒音測定地点までの直線距離は約 35m であった。谷間の地形のため、測定箇所までの間には樹木や地形の遮蔽があった。繁殖地における騒音状況について、等価騒音レベルの時間帯平均は 47dB であった。

表 6.2.4-27 騒音調査結果 (N-4 地区: 春季)

単位: dB

調査地点		N-4地区							
時間区分	測定時間帯	90%レンジ					L _{max}	L _{Aeq}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅			
昼間	6:00	39	35	32	30	30	63	37.0	L _{Aeq} = 47
	7:00	42	38	31	29	29	53	35.8	
	8:00	39	35	32	30	30	63	37.0	
	9:00	42	38	31	29	29	53	35.8	
	10:00	44	41	35	31	30	68	39.2	
	11:00	45	43	36	33	32	63	39.9	
	12:00	46	44	36	32	31	57	40.1	
	13:00	46	42	33	30	30	64	42.2	
	14:00	45	42	34	30	30	62	40.6	
	15:00	41	39	33	30	30	60	36.3	
	16:00	43	41	32	30	29	54	37.0	
	17:00	43	40	30	28	28	57	36.5	
	18:00	55	53	34	28	28	75	50.6	
	19:00	55	54	43	32	32	61	49.5	
20:00	44	41	37	33	33	56	39.5		
21:00	62	61	54	36	34	63	56.5		
平均		46	43	35	31	30	75 (最大値)	46.7	

調査年月日: 平成 29 年 6 月 6 日 6:00~22:00

冬季調査では、着陸帯南側の沢において の卵が確認されたことから、当該箇所において騒音調査を実施した(図 6.2.4-38 参照)。無障害物帯の縁から騒音測定地点までの直線距離は約 35m であった。谷間の地形のため、測定箇所までの間には樹木や地形の遮蔽があった。繁殖地における騒音状況について、等価騒音レベルの時間帯平均は 74dB であり、春季調査時と比較して高い値となった。

表 6.2.4-28 騒音調査結果(N-4地区:冬季)

調査地点		N-4地区							
時間区分	測定時間帯	90%レンジ					L _{max}	L _{Aeq}	時間区分の 平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅			
昼間	6:00	41	39	32	27	26	72	40.4	L _{Aeq} = 74
	7:00	40	39	33	28	27	53	35.3	
	8:00	43	42	36	32	31	61	38.9	
	9:00	42	41	37	32	31	59	38.2	
	10:00	95	48	41	36	35	102	85.6	
	11:00	47	45	41	37	35	59	42.4	
	12:00	50	49	44	39	38	56	45.4	
	13:00	49	47	41	36	35	63	44.2	
	14:00	49	47	42	38	37	55	43.9	
	15:00	50	49	42	38	37	79	52.3	
	16:00	51	49	44	40	39	58	46.0	
	17:00	50	48	43	38	37	65	45.2	
	18:00	61	60	55	36	34	65	56.2	
19:00	66	64	56	53	53	71	59.7		
20:00	58	57	48	38	36	63	52.3		
21:00	38	36	31	27	26	57	33.8		
平均		52	47	42	36	35	102(最大値)	73.6	

調査年月日:平成 30 年 2 月 14 日 6:00~22:00